

令和4年8月9日
子ども・若者部

(仮称) 砧あそびの杜プレーパークの整備について

(付議の要旨)

砧地域に、自然体験遊び場事業として(仮称)砧あそびの杜プレーパークを設置することを決定する。

1. 主旨

世田谷区子ども計画(第2期)後期計画では、「子どもが地域の中で自ら生きる力を育むことを支えます」を重点政策に掲げ、外遊び事業の推進と環境整備を進め、外遊びの拠点づくりに取り組んでいる。現在、区内には砧地域を除く4地域(世田谷・北沢・玉川・烏山)に外遊びの拠点となるプレーパークを地域住民の協力のもと設置し、子どもに自由で主体的で創造的な外遊びの機会を保障している。

砧地域については、外遊びの拠点となるプレーパーク未整備地域の解消を図るため、地域と検討を進めてきている。その結果をふまえた整備方針がまとまったことから、自然体験遊び場事業として、(仮称)砧あそびの杜プレーパークを新たに設置することを決定する。

そのため、世田谷区公共施設等総合管理計画に基づくプレーパークリーダーハウスの整備についても併せて決定する。

2. プレーパークの役割

プレーパークは、「自分の責任で遊ぶ」ことをモットーにした外遊びの象徴的な遊び場である。それぞれの特徴を活かし普通の公園ではできない穴掘りや焚き火、木登りや水遊び、工作等、自由にやりたい遊びができる。これらの遊びを通して、子どもたちが自由に主体的で創造的な外遊びができる場を作っている。また外遊びの大切さを発信し、担い手を育成するなど、外遊びの拠点としての役割を担っている。

3. これまでの経過

平成29年7月	「そとあそびプロジェクト・せたがや」立ち上げ →子ども・子育て会議の中の小部会である外遊び検討委員会のメンバーが中心となり、区の外遊び推進事業を実施している。
平成30年3月	「砧地域にプレーパークをつくろうネットワーク」 →そとあそびプロジェクトの砧部会と地域住民が中心となり、大蔵運動場アスレチック広場および幼稚園にて活動を実施し、現在定期的な運営をし、プレーパーク設置に向けた気運を盛り上げている。 (令和3年度60回実施、令和4年度85回実施)
令和3年 11月～12月	公園利用者、近隣住民、乳幼児親子、小学生にアンケートを実施 現地ヒアリング：2021年11月(2回) 回答者：65人(公園利用者、小学生、保護者) アンケート：2021年11月～12月

	回答者：101人（保護者、地域協力者、町会、小学生） 回答者住所地：砧、大蔵、桜丘、鎌田、岡本、喜多見、成城等
令和4年3月	ワークショップ「プレーパーク開設に向けた今までとこれから」実施
令和4年4月	砧まちづくりセンター管轄の町会長会議にてワークショップ報告

4. (仮称)砧あそびの杜プレーパークの整備方針

(1) 設置場所：大蔵運動場アスレチック広場

(2) 敷地面積： 2,280 m²

(3) プレーパークの整備内容

- ・リーダーハウス周辺の環境整備
- ・手洗い場の設置
- ・老朽化したアスレチック遊具の撤去

(4) 既存のアスレチック遊具について

地域住民や公園利用者の意見をふまえ、既存のアスレチック機能は残しながら老朽化したアスレチック遊具を撤去し、プレーパークを整備する。プレーパークが開設する時点で遊具の管理は公園緑地課から児童課に移行し、遊具の点検等は、公園管理事務所に執行委任する。

(5) リーダーハウス

設置敷地	世田谷区立大蔵運動場アスレチック広場内 (地図Aの位置)
建物構造	木造
建物規模	約36 m ²
建物位置	配置図参照
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・既存建物が建築基準法第48条の許可を受けている敷地であるため、リーダーハウスの建設に伴い建築基準法第48条の申請が必要となる。 ・リーダーハウスは、ワークショップを行い、子どもたちや担い手意見を取り入れる。

(6) 概算経費

プレーパークおよびリーダーハウスの整備は、住民との協働事業のため、ふるさと納税（子ども基金）「外遊びの場と機会の充実のために」を活用する。

目標金額 5,000 千円

- a) プレーパーク整備 約21,800 千円（設計費8,600 千円、工事費13,200 千円）
- b) リーダーハウス 約11,190 千円（設計費2,940 千円、工事費8,250 千円）

【別紙】

